

# 市議会

令和4年  
(2022年)

# 8

第162号

# だより



表紙：ワーケーションハウス U  
(旧片浦支所)

## 目次

副議長・監査委員の選出	2
5月臨時会の概要等	3
常任委員会等の構成	4
6月定例会の議案	6
6月定例会の賛否一覧・陳情の採決結果等	7
常任委員会の審査概要	8
一般質問	10
一般質問・議場見学会等	15
議会トピックス・9月定例会の予定	16

市議会の詳細は、  
小田原市議会HPへ



<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/citycouncil/>

 小田原市議会

# かんべ ひでのり 神戸 秀典 副議長を選出

## よう たか こ 議会選出監査委員に 楊 隆子 議員

5月24日に開催された5月臨時会では、副議長の選挙、議会選出監査委員の選任のほか、常任委員の選任など、議会活動を行う上で必要な事項を決定しました。

### 正副議長からの「あいさつ」 「シン・ギカイ」2年目を迎えて



神戸 秀典  
第74代 副議長



大川 裕  
第64代 議長

市民の皆さまには、日ごろから小田原市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の蔓延から約2年半が経過しようとしている中、終息にはまだまだ時間を要すると思われるものの、一時期に比べて、感染の状況は落ち着いてきていたことを受け、5月には「北條五代祭り」が「北條五代歴史と文化の祝典」として3

年ぶりに開催されました。

市議会議員も武者隊に参加し、五月晴れの中、予想以上の人出に驚くとともに、以前のような賑わいがまちに戻ってきた兆しを感じた次第です。

#### 「シン・ギカイ」 こころ

昨年、公平・公正・中立を旨としつつ、時代に即した効率的な議会運営に向けて、「シン・ギカイ」をキーワードに掲げる内容のごあいさつをさせていただきますました。その際に、カタカナの「シン」をパソコン等で漢字に変換しようとする、新、進、信、親、と複数の候補があることをお伝えいたしました。

この「シン」について昨年度を振り返りますと、議会改革検討委員会の設置やタブレット端末の導入の決定、小学生を対象とした議場見学会等、多くの事柄がありました。

議会改革検討委員会では議員定数の在り方や、効率的な議会運営、委員会におけるオンライン会議の導入等について検討を行っています。

また今年9月に導入予定のタブレット端末により、業務の効率化やペーパーレス化によるコストの削減等が進むことが見込まれます。

#### 議場見学会

議場見学会については、小学生が議会の説明や議員との質疑応答を通して、議会に親しみを抱いてもらう契機となりました。この見学をきっかけに議会や選挙、市政への関心を、より高めていってもらえたらと考えております。

小田原の未来の姿を見据え、変化を恐れずに柔軟な発想で議論を尽くし、より良い方向へ進んでいけるように、決意の一端を申し上げます。正副議長からのあいさつといたします。

#### 議会選出監査委員



楊 隆子  
監査委員

市の財務に関する事務の執行および経営に係る事業の管理が適正に行われているかを監査するため、本市には3名の監査委員がおり、そのうちの1名を市議会議員から選出しています。今回新たに、楊隆子議員が、議会選出の監査委員として選出されました。

市議会だよりは自治会を通しての配布のほか、公共施設等への配置もしております。

また市議会ホームページ上にPDFデータを掲載(平成28年2月号以降)しております。左記のQRコードからご覧ください。



## 建設経済常任委員会 所管事務調査報告書

### (地域経済振興施策について)

(要旨)



令和3年12月に行われた小田原市議会と小田原箱根商工会議所との懇談会において、「地域経済を循環させる取組を官民で力を合わせて行っていきたい」という旨の発言があったことから、「地域経済振興施策について」を調査テーマに、地域経済を活性化させる取組みについて調査、研究することとした。

調査に当たっては市内経済の現状について、市執行部の関係所管から説明を受けるとともに、市内事業者が抱えている課題を把握するため、小田原箱根商工会議所、公益社団法人小田原青年会議所から参考人を招致し、事業者から見た市内経済の現状と課題について説明および意見の聴取を行った。

こうした調査を経て、地域経済振興に対し、特に重要と考える事項を、①市内事業者の受注機会の拡大、②地域資源活用の促進、③市民の意識改革、④地域経済循環の4つの視点にまとめた。

市内事業者の支援や、地域経済の振興を着実に進めていくためには、市民、行政、事業者、関係団体等、関係各所が自身の役割を理解し、互いに地域経済振興に向け行動することが重要である。については、地域経済の経営方針を定める地域経済振興戦略ビジョンとは別に、市としての基本的な考え方を整理し、認識を共有するための理念が必要であると考える。その手段の一つとして挙げられるのが、「地域経済振興に関する条例」の制定である。これまでの研究を踏まえ、この条例の制定に取り組むべきである。

現在、引き続き建設経済常任委員会において条例の制定に取り組んでいます。

## 小田原市新病院建設調査

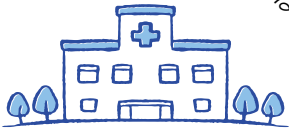
### 特別委員会中間報告書

(要旨)



新病院建設事業は、公募型プロポーザルにおける小田原市新病院建設事業者選定委員会の公正なる審査を経て、株式会社竹中工務店横浜支店および株式会社内藤建築事務所東京事務所と「小田原市新病院建設事業に係る基本協定」および「小田原市新病院建設事業基本・実施設計業務委託契約」が締結され、新病院の建設体制の礎が築かれるに至った。

今後、令和8年春頃の開院に向けて事業が進められるが、急激な物価変動による上限契約金額への影響等のさまざまなリスクに対して、次世代への負担や公平性・透明性等の観点を踏まえて、当該事業者との協議に取り組まれるよう求める。



## 会派の構成

会派の構成が次のとおり変わりました。(代表者以外は、当選回数順) (令和4年5月18日現在)

会派名	議員構成		控室電話番号
	代表者	構成員	
日本共産党	田中 利恵子	横田 英司、岩田 泰明	33-1789
公明党	奥山 孝二郎	楊 隆子、荒井 信一、金崎 達	33-1786
誠風	加藤 仁司	大川 裕、井上 昌彦、篠原 弘 鈴木 和宏、宮原 元紀	33-1782・1783
志民・維新の会	安野 裕子	武松 忠、鈴木 美伸、杉山 三郎 鈴木 敦子、小谷 英次郎	33-1780・1785
緑風会	鈴木 紀雄	木村 正彦、川久保 昌彦、角田 真美	33-1787
誠新	俵 鋼太郎	神戸 秀典、清水 隆男、池田 彩乃	33-1781

\*小田原市議会における「会派」とは、所属政党や主義、主張等を同じくする議員のグループ(3名以上)のことをいいます。

# 常任委員会の構成 (委員の並び順は議席番号順)

本会議で審議される議案等は、テーマが多岐にわたるため、効率的な議事運営のために、分野ごとに常任委員会を設置し、詳細な審査を行っております。

本市議会では4つの常任委員会を設置しており、議員は議会広報広聴常任委員会を除く常任委員会のうち、いずれか一つの常任委員会に所属しています。

5月臨時会で、新たな委員構成になりましたので、ご紹介いたします。

## 総務 常任委員会

議会事務局、企画部、総務部、市民部、防災部、環境部、消防本部および監査事務局の所管に属する事項ならびに他の委員会の所管に属しない事項



**委員長**  
かとう ひとし  
加藤 仁司  
(誠風)



**副委員長**  
あらい のぶかず  
荒井 信一  
(公明党)



すずき あつこ  
鈴木 敦子  
(志民・維新の会)



すずき かずひろ  
鈴木 和宏  
(誠風)



すずき よしのぶ  
鈴木 美伸  
(志民・維新の会)



すずき のりお  
鈴木 紀雄  
(緑風会)



かんべ ひでのり  
神戸 秀典  
(誠新)



いけだ あやの  
池田 彩乃  
(誠新)



いわた やすあき  
岩田 泰明  
(日本共産党)

## 厚生文教 常任委員会

文化部、福祉健康部、子ども青少年部、市立病院および教育委員会の所管に属する事項



**委員長**  
しのはら ひろし  
篠原 弘  
(誠風)



**副委員長**  
つのだ まみ  
角田 真美  
(緑風会)



やすの ゆうこ  
安野 裕子  
(志民・維新の会)



かわくぼ まさひこ  
川久保 昌彦  
(緑風会)



たかぐち たかこ  
楊 隆子  
(公明党)



いのうえ まさひこ  
井上 昌彦  
(誠風)



たけまつ ただし  
武松 忠  
(志民・維新の会)



たなか りえこ  
田中 利恵子  
(日本共産党)



しみず たかお  
清水 隆男  
(誠新)

## 建設経済 常任委員会

公営事業部、経済部、都市部、建設部、上下水道局および農業委員会事務局の所管に属する事項



委員長

みやはら げんき  
宮原 元紀  
(誠風)



副委員長

かなざき とおる  
金崎 達  
(公明党)



おおかわ ゆたか  
大川 裕  
(誠風)



すぎやま さぶろう  
杉山 三郎  
(志民・維新の会)



きむら まさひこ  
木村 正彦  
(緑風会)



おくやま こうじろう  
奥山 孝二郎  
(公明党)



こばた えいじろう  
小谷 英次郎  
(志民・維新の会)



よこた えいし  
横田 英司  
(日本共産党)

## 議会広報広聴 常任委員会

議会の広報および広聴に関する事項

委員長

池田 彩乃 (誠新)  
角田 真美 (緑風会)  
宮原 元紀 (誠風)  
小谷 英次郎 (志民・維新の会)

副委員長

鈴木 敦子 (志民・維新の会)  
荒井 信一 (公明党)  
井上 昌彦 (誠風)  
岩田 泰明 (日本共産党)

## その他の委員会の構成 (委員の並び順は議席番号順)

### 議会運営 委員会

議会の運営や議長の諮問に関する事項

委員長

鈴木 和宏 (誠風)  
鈴木 敦子 (志民・維新の会)  
金崎 達 (公明党)  
武松 忠 (志民・維新の会)

副委員長

清水 隆男 (誠新)  
川久保 昌彦 (緑風会)  
篠原 弘 (誠風)  
田中 利恵子 (日本共産党)

### 小田原市 新病院建設調査 特別委員会

新病院の建設・調査に関する事項

委員長

鈴木 和宏 (誠風)  
金崎 達 (公明党)  
杉山 三郎 (志民・維新の会)  
横田 英司 (日本共産党)

副委員長

川久保 昌彦 (緑風会)  
宮原 元紀 (誠風)  
小谷 英次郎 (志民・維新の会)  
清水 隆男 (誠新)

# 6月定例会の議案から

6月定例会では令和4年度補正予算・条例議案等を可決しました。ここではその一部の、デジタルミュージアム創設事業、美食のまち小田原推進事業についてご紹介します。

## デジタルミュージアム創設事業

補正予算  
一般会計 1億5932万円

### 議案関連質疑

**問** 予算の主な内訳について伺う。

**答** 予算については委託料が大半を占めており、膨大な資料を整理し、デジタル化するアーカイブ構築に約3分の2を、資料をより魅力的に見せるミュージアムの構築に約3分の1を充てる予定であるほか、デジタル画像撮影のための機材購入費を計上している。

**問** 著作権の取り扱いについて伺う。

今回の事業で作成したコンテンツ等の著作権は、全て市に帰属することになる。美術品等、資料そのものに著作権があるものについては、目録および画像データの整備はするものの、まずは目録データのみ公開し、画像データについては、権利者の承諾が得られたものから順次公開する予定である。

郷土文化館所蔵資料をはじめとした市が有する歴史的・文化的資料の高精細デジタルレプリカ等を作成し、小田原市デジタルミュージアムとしてインターネット上で広く公開し、歴史、文化に触れる機会・場を提供することで、市民の生涯学習活動に資するとともに、歴史と文化の次世代継承や学校教育・観光振興につなげる。

**問** 令和5年度以降のランニングコストと今後の方向性について伺う。

**答** 令和5年度以降は、システムの使用料およびメンテナンス等に係る経費や回線使用料等、年額200万円余りを想定している。令和5年度以降は基本

## 美食のまち小田原推進事業

補正予算 一般会計 1950万円

本事業は、食材や食文化など、本市の豊かな地域資源を最大限活用し、「美食のまち小田原」のイメージを市内外に定着させ、観光誘客等を図るとともに、小田原の食のブランド力を高め、飲食事業の起業へもつなげるものである。

令和4年度は、プロポーザル審査により支援事業者を選定するとともに、「美食のまち小田原」のコンセプトやブランディング方法を決定する。

当初予算で予定している関連団体等との連携強化や、商品開発、販路拡大の支援やプロモーションの実施に加え、今補正予算では、情報発信体制の整備を進めるとともに、市場調査を実施する。

今年度のスケジュール

項目	令和4年									令和5年		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
コンセプト骨子検討	・本市の現状整理 ・他地域事例研究											
(1)支援事業者選定			事業者選定									
(2)事業推進支援								事業推進支援				
(3)事業推進体制の構築			(仮称)美食のまち推進協議会設置					推進協議会の開催				
								美食のまちづくり 推進プロデューサーの登用				
(4)市場調査								市場調査				

詳細な資料はこちら



詳細な資料はこちら



次の意見書を国等に提出しました

全文は  
こちら→



豊かな学びの実現・教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための令和5年度政府予算に係る意見書（要旨）

- 1 小学校の35人学級を計画的に進め、中学校・高等学校での引き下げを早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
- 2 専門性の高い教科指導を行い教育の質の向上を図るとともに、教員の持ちコマ数軽減等による働き方改革推進のために、教科担任制の配置増によるなど教職員定数改善を推進すること。
- 3 要保護・準要保護加配の基準を緩和し、年度当初から事務職員を配置すること。また、年度途中に要件を満たした場合も、確実に配置すること。
- 4 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

令和4年6月定例会 賛否一覧

会派名 番号	日本共産党			公明党				誠風				志民・維新の会					緑風会				誠新							
	23	24	25	5	6	15	16	7	8	9	10	19	20	1	2	11	12	21	22	3	4	13	14	17	18	26	27	
議員名	横田英司	田中利恵子	岩田泰明	荒井信一	金崎達	奥山孝二郎	楊隆子	宮原元紀	篠原弘	大川裕	鈴木和宏	井上昌彦	加藤仁司	安野裕子	鈴木敦子	鈴木美伸	杉山三郎	武松忠	小谷英次郎	川久保昌彦	角田真美	鈴木紀正	木村正彦	神戸秀典	池田彩乃	清水隆男	依田鋼太郎	
議案第45号 小田原市立病院の診療報酬等に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第1号 豊かな学びの実現・教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための令和5年度政府予算に係る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	※	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	

※ 議長は採決に加わりません。

○：賛成 ×：反対

- ・下段に記載の陳情を除く全11件のうち、賛否が分かれた議案のみを掲載しています。
- ・全議案および陳情の賛否については、ホームページでご覧になれます。



賛否一覧

陳情の採決結果

件名	結果
選挙公報の発行・配布方法の見直しを求める陳情	不採択
豊かな学びの実現・教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情	採 択
幹線道路沿いの建造物等の屋根への構造物等設置を規制することを求める陳情	不採択
社会福祉法人ゆりかご園（小田原市）におけるゆりかご会館等建替え計画に関する陳情書	不採択
小田原市個人情報保護条例の見直しに関する陳情書	不採択

・陳情の全文については、ホームページでご覧いただけます。



陳情一覧

## 建設経済常任委員会



### 【補正予算】

#### 観光のデジタル化・ICT化の促進 ビッグデータ活用による地域経済活性化

新たな誘客とビッグデータ取得のため、観光のデジタル化・ICT化を推進する。来訪者の動向を把握し、今後の観光振興やマーケティングに活用する。その他、デジタルサイネージ等を活用した情報発信、eスポーツ（P13に用語解説あり）に着目した新たなコンテンツ造成を進め、既存のイベントと連携しながら、地域経済活性化を目指す。

**問** ビッグデータの取得は、個人情報を含まないとされているが、どのような情報を、どういった手段で収集するのか伺う。

**答** 市内観光スポット20箇所程度にビーコンを設置し、来訪者のスマートフォンのWi-Fiやbluetooth検知により、データを収集する。収集するデータについては、スマートフォンユーザーの過去の動向から類推された性別や年代に加え、滞在時間、周遊ルートなどのデータを想定している。

### 【補正予算】

#### 事業者のDX（デジタルトランスフォーメーション） 推進に向けた普及啓発と導入支援

市内事業者の生産性向上により、地域経済が活性化するように、小田原箱根商工会議所が実施する次の事業を支援する。

- ①DX化の目的や定義などの基礎知識、中小企業の取り組みの実例を学ぶ講習会の開催
- ②DX化に関心を寄せ、導入の検討意欲が高い事業所への専門家派遣による事業者診断

**問** 業種ごとに、DXの推進は異なってくると思うが、どう推進していくのか伺う。

**答** 講習会では実際の取り組みを事例として紹介していく。また、事業者診断に当たっては、事業者の求めるDX化に合った専門家を選定し支援していく。

#### 「こんな報告もありました」

- 小田原地下街の運営方式の検討状況
- 空家等実態調査の結果

など

## 厚生文教常任委員会



### 【条例】

#### 小田原市立病院の診療報酬等に関する 条例の一部を改正する条例

診療報酬改定において、①「他の医療機関等からの紹介状なしに一定規模の病院について受けた初診時」、②「当該病院が他の医療機関に文書にて紹介を行う旨の申出を行ったにもかかわらず当該病院について受けた再診時」に患者から徴収すべき選定療養に係る定額負担の基準額が引き上げられたため、市立病院の初診時選定療養費および再診時選定療養費の額を改正する。

**問** 2市8町の住民に対しても、紹介状なしの初診料が高くなることや、緊急でやむを得ない場合は例外となることについて、事前に周知をすべきと考えるが市の考えを伺う。

**答** 条例の公布後、速やかにホームページや院内掲示で案内をするほか、当圏域にお住まいの方々に向けて各市町の広報誌や地域タウン誌を利用するなどして広く周知を図っていく。

### 【補正予算】

#### コロナ禍における物価高騰対策事業 (保育所等給食・学校給食費)

コロナ禍の影響等により、市内の保育施設や公立小中学校で提供される給食の材料費が高騰しており、給食費の保護者負担額が増加することが懸念される。このため、給食材料費の物価高騰相当分を民間保育所等へ補助するほか、公立の保育所、小中学校の給食材料費の不足額を補填することにより、保護者負担額を増加させずに、安定した給食の提供体制を維持する。

**問** 小田原市独自の事業として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を物価高騰による保育所等給食・学校給食費の経済支援に充てるという考えに至った理由を伺う。

**答** 国全体の経済対策の中で、生活者支援に係るものとして、保護者に対して負担額を増やさないとという市としてのメッセージを早く発信するため補正予算を計上した。

#### 「こんな報告もありました」

- 小田原市子どもの生活実態調査結果

など



# 総務常任委員会



## 【補正予算】

### 住民異動受付支援システム導入事業

住民異動受付支援システムの導入により、窓口で住民異動届出書を記入せずに手続きをできるようにし、市民等の利便性の向上を図る。

**問** 市民の方の窓口滞在時間も短縮され、また、窓口職員の負担も軽減されるということでしょうか。

**答** 今回の住民異動受付支援システム導入に対する効果は、記入負担の軽減、窓口滞在時間の短縮の2点である。

また、住民異動受付支援システムの導入により、これまで職員側にかかっていた負荷も一定量軽減されると見込んでいる。

#### 「こんな報告もありました」

- 移住促進に係る新たな取り組み
- 市民会館跡地等活用計画の検討状況 など

※1 OCR (Optical Character Recognition/Reader、オーシーアール、光学的文字認識) 印刷された文字をスキャナで読みとることで、デジタル文字に変換する技術

※2 QRコード (Quick Responseコード) 平面のドット模様で約2600文字数のデータを格納できる

「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です

## 【補正予算】

### 河川氾濫予測災害感知システム等構築

河川等に設置したセンサーから得た情報や、市民通報を活用し、災害発生の危険性を早期に把握・集約するとともに、市民が災害情報を入手でき、安全安心に暮らせる社会を構築する。

**問** 河川氾濫予測災害感知システム等の具体的な設置場所と設置数について伺う。

**答** 設置場所は、現在、道水路の管理者等と調整中のため未定である。設置数は、現地での調査を進める中で、できるだけ効果的な場所に設置するため今後変更の可能性もあるが、予算上では危機管理型水位計を10カ所、土砂災害発生検知センサーを15カ所、海岸監視カメラを2カ所で積算している。

## 【運用イメージ】



## 【補正予算】

### 予防接種事業 HPVワクチンキャッチアップ接種

子宮頸がん予防のためのHPVワクチンは積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人に対して、時限的に従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行うキャッチアップ接種を実施し、公平な接種機会を確保する。対象者のうち、公費による3回の接種が完了していない者に対して本事業を周知し、HPVワクチン接種を実施する。また令和4年3月31日以前に自費による任意接種を行った人に対し、その費用の一部または全部を助成する償還払いを実施する。

**問** 市はHPVワクチンを自費で任意接種を行った方の把握はできているのか。

**答** 市は任意接種を行った方の情報を有していないため、償還払いは本人からの申請となるが、公費による接種をしていない方として制度のお知らせが届くため、制度の周知はできると考えている。

地域経済の好循環につながる公共工事  
最低制限価格の在り方を問う

杉山 三郎



**問** 公共工事では最低制限価格付近での落札が多いようだが、令和4年5月20日に閣議決定された国の指針ではダンピング受注の防止を図る観点から、最低制限価格は適切な水準で設定することとされている。そこで本市の最低制限価格の設定方法と引き上げの対応、近年における落札率を伺う。

**答** 本市では国が公表している低入札価格調査基準に係るモデルに基づき、工事執行における最低制限価格の算出方法を定めており、当該モデルが本年3月に見直しされたことから、本市においても4月1日以降に入札を行う案件は、最低制限価格の算出方法を変更したところである。なお本市の工事執行における落札率については、過去3年の平均で概ね90パーセントとなっている。

その他の質問

- 行政改革の推進と広域連携
- 「世界が憧れるまち“小田原”」の実行性

医療機関の設備等の浸水対策  
屋上への設置に高度地区の適用緩和を

武松 忠



**問** 水害による病院等の浸水被害が数多く報道されている。浸水により受変電設備や高度医療機器等が被害を受けた場合、復旧には多くの時間と経費を要する。浸水対策として、盛り土等により地盤面を高くすることや高台への移転もあるが、これらも多くの時間や経費を要し容易ではない。

本市の高潮浸水想定区域内にある病院数はいくつか。また屋上への受変電設備等設置に際し高度地区の適用を緩和すべきと考えるが見解を伺う。

**答** 現在の高潮の想定は、我が国の既往最大規模の台風が本市に最接近したと仮定した場合を想定したものである。その高潮浸水想定区域に病院は5施設あるが、高度地区の適用を緩和する規定は設けていない。高潮による浸水対策については、課題認識を持って、都市機能の維持のため、さまざまな角度から研究していく。

その他の質問

- 久野地区地区計画
- 小田原大海嘯から120年を迎えて

一般質問

6月定例会では、19人の議員が一般質問を行い、市政に対する疑問点や将来の展望などについて、市長等の考え方を確認しました。ここではその一部を紹介します。

＜質問一覧はHPで確認できます＞



平和都市宣言を活かす取り組み  
市民活動との連携は

清水 隆男



**問** 本市では、各種市民団体や個人等により平和を求める市民活動が行われている。平和な未来を創っていくためには市民との連携がとても重要であるが、市はこれら市民団体等の活動をどの程度把握しているのか伺う。またこれまでの関わり方、今後の連携の考え方について伺う。

**答** 平和に関する市民団体により、北條ポケットパークでの宣伝活動、平和行進、マラソンなどを通じ、核兵器の廃絶や世界平和を訴える活動が、これまで継続的に行われていると認識している。コロナ禍で見合わせている活動もあるが、こうした活動と連携し、市役所での出迎え、市長メッセージの手渡しなどを行っている。平和の大切さへの意識を高めるためには、このような市民団体の活動は重要であり、今後も連携を進めていく。

その他の質問

- 小田原駅西口地区における再開発
- 学校教育の充実

## 家庭ごみの全世帯対象の戸別収集 実施に向けた調査研究の考えは

篠原 弘



**問** 現在、本市の戸別収集は登録制のサービスであり、対象は65歳以上の方のみ、障がいのある方のみ、またはその両者のみでお住まいの世帯が対象となっている。

県内においては、複数の自治体が全世帯対象の戸別収集を実施しているが、本市での実施に向けた調査研究を行う考えはあるか伺う。

**答** 本市では、ごみの運び出しが困難な高齢者等を対象に重量のある古紙・布類の戸別収集を実施しており、また自治会からの集積場所の新設要望に随時対応している。収集経費の問題等からも、全世帯対象の戸別収集は現状では考えていないが、ごみ排出困難者の増加が想定できるため、高齢者等を対象とした戸別収集の対象品目拡大の研究や試行等に取り組んでいく。

### その他の質問

- 本市における附属機関の設置および運営状況等  
など

## 「聞こえ」を良くして認知症予防 補聴器購入費の助成をすべき

田中 利恵子



**問** 本市の認知症の方の人数は在宅介護実態調査等からすると多い傾向にあり、介護をする上での不安要素としても認知症状への不安が多い。こうした現状に鑑みると、何とか認知症を減らせないものかと考える。

そこで認知症のリスク要因となる加齢性難聴への対応として、補聴器購入費助成をすべきと考えるが、本市の見解を伺う。

**答** 加齢により聞こえが悪くなった高齢者にとって、補聴器は一つの手段であるが、煩わしさ等から補聴器を装着しないことを選択する高齢者も多い。また補聴器購入費助成を始める自治体がある一方で、助成を終了した自治体もある。

本市としては、助成の効果等、他市町の状況を注視したいと考えており、現在、助成は考えていない。

### その他の質問

- メダカが生息する環境を守ること

## 国指定史跡である石垣山一夜城 整備予定と史跡指定解除の可能性は

加藤 仁司



**問** 石垣山一夜城を訪れる度、野面積みされた石垣等から400年以上前の歴史の重みを感じずにいられないが、建造物が一切ないこと等から観光客の関心が今一つ向いていないように思う。国指定史跡であるが故、制約もあると思うが、今後の整備予定と史跡指定解除の可能性を伺う。

**答** 史跡石垣山は、豊臣秀吉が築城した当時の状況が残されているところに価値があると評価されているが、時間の経過等により崩落の可能性がある石垣が目立ってきているため、当面は石垣の保全対策を進め、来場者の安全確保に努める。

史跡指定解除の要件は、新たな調査等により事実や価値の認識が変化しその価値を失った場合等であるが、現状では文化財保護法に定められている要件には当てはまらないと考えている。

### その他の質問

- 地域特性を生かした農産物の生産振興
- 映画「二宮金次郎」

## 市が所蔵している美術作品の展示 公共施設等の有効活用は

鈴木 敦子



**問** 令和2年度に行われた市庁舎内アートツアーや市所蔵の美術作品展は好評であった。本市としては美術館機能が不足し、収蔵庫の設置も困難な状況であるので、市所蔵の美術作品については、市庁舎内や市の関連施設のスペースを活用し展示する等、有効活用を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

**答** 令和3年度策定の「小田原ならではの文化によるまちづくり基本計画」では、目標の一つに「文化と触れあう機会をつくる」を掲げ、日常の暮らしに文化が息づく魅力あるまちを目指している。

今後、市庁舎や他の公共施設の空きスペースを活用し、市民活動団体の協力もいただきながら、できるところから展示する作品を増やし、市民の美術作品に触れる機会を創出していく。

### その他の質問

- 小田原市立小中学校における水泳授業等
- 小田原市立小中学校施設 など

●●用語解説●●

《医療的ケア児》

医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

《HPVワクチンとその種類》

現在、日本国内で使用できるHPVワクチンは、サーバリックス（2価HPVワクチン）、ガーダシル（4価HPVワクチン）、シルガード9（9価HPVワクチン）の3種類がある。このうち、サーバリックスとガーダシルは定期接種として公費で受けられる。

医療的ケア児のショートステイ  
その受け皿と保護者からの意見は



安野 裕子

**問** 医療的ケア児（用語解説あり）に対するショートステイのサービスは、医療的ケア児がリハビリを受けられるとともに、保護者の心身の休養等、家族支援の目的もあるが、受け入れ先が少ないと聞いている。そこで県西地域において医療依存度が高い医療的ケア児がショートステイ等のサービスを受けることができる施設はあるのか、またショートステイに当たって、保護者からはどのような意見があるのか伺う。

**答** 県西地域において受け入れを行っている施設は2カ所である。ただし、身体障害および知的障害を併せ持つ重症心身障害児であることが条件となっており、全ての医療的ケア児が対象とはなっていない。

保護者からは、受け入れ施設や日数が少ない、緊急時に利用できないといった意見がある。

その他の質問

- 第6次小田原市総合計画の実行計画に伴う財政運営
- 小田原市の農業振興

増加する耕作放棄地対策として  
ソーラーシェアリングの導入は

井上 昌彦



**問** ソーラーシェアリングは、農地に支柱等を立て、その上部に太陽光パネルを設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取り組みである。営農しながら農地の上部空間を有効活用できるというメリットがあるため、増加する荒廃農地の再生利用にも期待されている。そこで耕作放棄地対策の一つとして、ソーラーシェアリング導入に対する本市の見解を伺う。

**答** 本市では耕作放棄地の予防や解消のほか、神奈川県農業公社と協力し、担い手へ農地を集積する等の耕作放棄地対策を実施している。今後も神奈川県と連携して幅広く耕作放棄地対策に取り組んでいくが、営農型の太陽光発電であるソーラーシェアリングについても対策の一つとして認識している。



その他の質問

- 史跡小田原城跡の整備と活用

子宮頸がんの予防のためのHPV  
ワクチンの接種促進と費用助成は

岩田 泰明



**問** ヒトパピローマウイルスを原因とする子宮頸がんはワクチンで予防可能であり、定期接種の対象でない9価ワクチン（HPVワクチン・用語解説あり）について、独自に一部の費用を補助する制度を開始している自治体もある。費用助成により、9価ワクチンの接種促進を図るべきと考えるが、見解を伺う。また男性にも疾病予防の効果が認められているため、接種の助成を行うべきと考えるが、同様に見解を伺う。

**答** 定期接種の対象でない9価ワクチンについては、国がワクチンの有効性や安全性等の検討を開始している。この検討状況は注視していくが、市では予防接種法の定期接種に公費助成を行っているため、現時点では費用助成は考えていない。また同様の理由で男性の接種に対する費用助成も考えていない。

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 本市職員の労働条件 など

## 本市におけるヤングケアラー 実態に対する市の捉え方は

横田 英司



## 農業分野からの脱炭素化 実現に向けた本市の考えは

鈴木 美伸



**問** ヤングケアラー（用語解説あり）の実態および実態調査については、昨年の6月定例会においても複数の議員から一般質問が行われている。それから1年が経過したが、実態調査の実施状況とヤングケアラーの実態に対する市の認識について伺う。

**答** 本市では昨年度、市内公立学校に通う小学5年生および中学2年生、ならびに保護者を対象に、子どもの生活実態調査を実施した。

本調査は、ヤングケアラーに特化したものではなく、子どもの生活習慣や学習意欲、親の就労状況や家計の状況など、生活全般について調査したものであるが、その調査で、児童生徒を対象に兄弟姉妹や病気の家族・祖父母の世話をする時間を尋ねる設問を設けたところ、家庭でケアを担っている子どもが一定数存在することが分かった。

### その他の質問

- 物価高騰から暮らしと営業を守るための対策

**問** 脱炭素化の取り組みとして「4パーミル・イニシアチブ」というものがある。これは、全世界の土壌の炭素量を毎年1000分の4ずつ増やしていけば人間の経済活動によって増加する大気中の二酸化炭素を実質ゼロにすることができるという考え方に基づき、2015年の国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、フランス政府が提案したものである。

この取り組みについて、本市はどのように考えているのか伺う。

**答** 地球温暖化を抑制するため、農業分野から脱炭素化を目指す取り組みであると認識している。地球温暖化対策にはさまざまな取り組みがあるので、本市としては、まずは4パーミル・イニシアチブの動向を注視していく。

### その他の質問

- 本市の地域通貨
- 早川・片浦地域の活性化

## ●●用語解説●●

### 《eスポーツ》

「エレクトロニック・スポーツ」の略で、電子機器を通じての競技全般であり、一般のスポーツと同様にプレイヤーだけでなく多くの観客が観戦することが大きな特徴である。

北米や欧州、アジアではeスポーツが既に興行として成立し、広範な経済波及効果もあり、幅広い年代において人気のコンテンツとなっている。

### 《ヤングケアラー》

家族にケアを要する方がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護等を日常的に行っている18歳未満の子どものこと。

## eスポーツを活用した魅力発信 誘客に向けた取り組みは

荒井 信一



**問** 本市は観光PR事業としてeスポーツ（用語解説あり）を活用し、どのような魅力を発信していこうと考えているのか。またスポーツツーリズムのように、eスポーツも大会を通しての誘客が可能であると考えますが、今年度における大会開催のスケジュールについて伺う。

**答** 本市の観光振興のためには、若年層に向けた誘客のコンテンツが必要であることから、年代、性別、障がいの有無を超えて多くの人を楽しめる特徴を持つeスポーツを、若者を呼び込むための新たな魅力として発信していきたい。

誘客方法としては、大会などのイベント開催がメインとなるが、小田原の特産物などと絡めたイベント開催により、観光PRも可能となる。今年度は10月ごろに普及・定着のための体験会、令和5年3月ごろには大会の開催を予定している。

### その他の質問

- 本市におけるデジタルアーカイブの取り組み
- スポーツ振興

小田原地下街「ハルネ小田原」  
車椅子等利用者への対応を

川久保 昌彦



「機動戦士ガンダム」の富野由悠季監督  
生誕の地としての想いは

鈴木 和宏



**問** 車椅子やベビーカーを利用する方にとって  
は地上から小田原地下街「ハルネ小田原」へ  
容易に至ることが難しいと判断するが、共生社会  
実現の視点において現状の認識と、今後階段を一  
部改良してエレベーターを設置する考えがあるか  
見解を伺う。

**答** ハルネ小田原では、車椅子等を利用されている  
方に配慮し、多目的トイレや授乳室を設置している。  
また、地下街へ至る手段としてはラスカ小田原  
等にエレベーターが2カ所設置されている。階段  
の一部を改良した増設は、階段の幅員や避難距離  
が法令に抵触する恐れがあることや、設置スペースの確保、施設への構造的影響などを考慮すると、現状において短期的に対応することは難しい。今後は駅前広場の隣接地における民間再開発等の動向を見据えながら検討していく。

その他の質問

- 広域避難所の運営等
- 本市におけるいわゆる「道路族」の問題を解決すること

**問** 新聞の特集記事に富野監督が取り上げられ  
た。その内容は、子どもが見るからこそ全力  
で作品づくりに取り組む姿勢等、ご本人にフォー  
カスしたものであった。また全国8カ所で展覧会  
「富野由悠季の世界」が開催されたが、これが小  
田原でも開催できれば、市民の意識醸成や作品を  
通じて買われている思想を知るまたとない機会と  
なると考える。そこで市長の富野由悠季監督への  
想いを伺う。

**答** 世界のアニメ界に数多くの功績を残している  
富野監督が小田原出身であることに誇りを感じ  
ている。また作品の背景が小田原にあることも感慨  
深く受け止めている。今後は富野監督個人と数々の  
作品にスポットを当てた事業を展開し、本市独自の  
アニメコンテンツを活かした誘客施策の推進と同時に、  
多くの方にその功績を顕彰していく。

その他の質問

- 市内農業生産基盤
- 地域の食材を学校給食で利用する取り組み

将来を担う子どもたちに  
「郷土愛」を育む教育施策を

角田 真美



美食のまちづくりの実現  
そのコンセプトや地元への支援は

宮原 元紀



**問** 子どもたちが、生きる力を養い、国際社会  
の場などで活躍していくためには、教育施策  
において「郷土愛」を育むことを盛り込んでおく  
ことが大切だと考える。そこで児童生徒が郷土で  
ある小田原を系統的に学ぶ時間があるのか伺う。

**答** 本市では、教育委員会が発行している社会  
科副読本を使い、小中学校を通して郷土につ  
いての学習活動を系統的に行っている。小学3年  
生では副読本「わたしたちの小田原」を使い、市  
の地形・伝統工芸・地域産業等を学習し、4年生  
では「二宮金次郎物語」を使い、地域の偉人につ  
いて学んでいる。6年生では「北条五代物語」を  
使い、戦国時代を中心に小田原の歴史に触れ、中  
学校では、郷土読本「小田原」を使い、郷土の「自  
然」「社会」「歴史・文化」について理解を深め、  
郷土である小田原を系統的に学んでいる。

その他の質問

- 真の女性活躍のための本市の課題
- 「シニアが輝くまち小田原」に対する本市の取り組み など

**問** 美食のまちとして世界的に有名なスペイン  
のサンセバスチャンは、バスク地方の料理の  
レベルを維持、継続するための料理学校を設立し  
たほか、街全体が伝統的な美食を守り、新たな美  
食を作り、若手を育てる体制が育まれている。

本市においてはどのように美食を守り、作り、  
育てていくのか伺う。

**答** 「(仮称) 美食のまち小田原推進協議会」に  
おいて、支援事業者とともにコンセプトを作り、  
それを実現するための方策についても検討し  
ていく。その内容としては、本市の豊かな農林水  
産物等の地元食材を生かし、飲食店と一次産業を  
連動させた販路開拓や消費拡大、新たな商品開発  
に加え、若手料理人の育成や飲食事業の起業、出  
店の支援といったことも想定される。

その他の質問

- 職員の人材育成や評価制度

共生社会の形成に向け  
特別支援教育の着実な推進を

池田 彩乃



通学路の危険箇所  
合同点検による確認状況と対策は

小谷 英次郎



**問** 共生社会の形成に向けては、「障害者の権利に関する条約」に基づくインクルーシブ教育システムの理念が重要であり、その構築のため特別支援教育を着実に進めていく必要があると考える。そこで本市における特別支援教育の今後の取り組みについて伺う。

**答** 教育委員会では、全ての児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を行い、児童生徒の健全な発達を促すことを目指している。特別な支援を必要とする児童生徒に対しては、自己の持つ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加ができるよう、個々に適切な支援を行うことが重要である。このため教職員の指導力や専門性の向上、個別支援員の適切な配置、就学相談の充実等に引き続き努めていく。

**問** 2021年6月に千葉県八街市で下校中の小学生の列にトラックが衝突し、児童5人が死傷した交通事故を受け、全国の市町村立小学校の通学路について、教育委員会、学校、PTA、道路管理者、警察等による合同点検が行われた。本市において、この点検により確認された危険箇所の数と、どのような対策が必要とされているのか伺う。

**答** 令和3年度に実施した合同点検により確認された対策が必要な危険箇所は104カ所であった。必要とされる対策は、路面標示等の設置や塗り直しが77件、注意喚起等の看板設置が9件、ポストコーンやガードパイプ等の設置が7件、パトロールの強化が2件、学校における交通安全教育等による対応が5件、その他が4件であった。

その他の質問

- 健康寿命の延伸
- 災害から命を守る対策



その他の質問

- 神奈川県議会議員選挙における南足柄市と足柄下郡の合区 など

## 小学生を対象とした議場見学会（議会報告会）

令和3年度から、議会報告会の一つの形として小学生を対象とした議場見学会を行ってきました。令和4年度は市役所から距離のある学校について、借り上げバスによる学校から市役所までの移送を試行することにしました。このことにより、交通上の課題により来場が困難であった学校への対応が可能となり、7月4日（月）に前羽小学校、7月8日（金）に山王小学校の6年生が来場し、議場や関連施設の見学のほか、議員との質疑応答を行いました。

また、他にも見学を希望する学校が複数あり、10月以降の実施に向けて調整を行っています。



前羽小学校による見学の様子



山王小学校による見学の様子



## おだわら未来創造塾 ～ ジュニアハイスクール議会 '22 ～

本市議会では、公益社団法人小田原青年会議所が行う、市内の中学生を対象とした「ジュニアハイスクール議会」に協力します。本事業は中学生が事前の学習を経て最終的に議場において、小田原市長に質疑・提言を行うものです。

8月23日（火）のジュニアハイスクール議会当日に向けて、8月3日（水）には市議会議員が質問の作り方等のアドバイスをしたり、議場見学を実施して、中学生が市長に提言を行うための準備のサポートも行います。

# 議会トピックス

## 9月定例会の予定

9 / 1 (木)	本会議（第1日目） 提出議案等の説明
9 / 6 (火)	本会議（第2日目） 議案に関する質疑など 議会広報広聴常任委員会
9 / 7 (水)	総務常任委員会
9 / 8 (木)	厚生文教常任委員会
9 / 9 (金)	建設経済常任委員会
9 / 15 (木)	本会議（第3日目） 各常任委員長審査結果報告 議案等の採決、一般質問
9 / 16 (金)	本会議（第4日目） 一般質問
9 / 20 (火)	本会議（第5日目） 一般質問
9 / 21 (水)	本会議（第6日目） 一般質問
9 / 22 (木)	本会議（第7日目） 一般質問 決算認定案の説明など 決算特別委員会 議会広報広聴常任委員会
9 / 26 (月)	決算特別委員会（書類審査・一般会計）
9 / 27 (火)	決算特別委員会（書類審査・一般会計・特別会計・企業会計）
9 / 28 (水)	決算特別委員会（現地査察）
10 / 3 (月)	決算特別委員会（総括質疑、採決）
10 / 6 (木)	本会議（第8日目） 決算特別委員長報告、議案等の採決

より一層「開かれた議会」を目指し、  
今後も協議を継続

全文は  
こちら→



## 議会改革検討委員会 中間答申の概要

令和4年6月29日に、諮問事項のうち、結論に至った3項目について中間答申を提出しました。

### ○予算特別委員会・決算特別委員会の現地調査

予算特別委員会現地視察：原則として実施しない  
決算特別委員会現地査察：現行のまま（必須）

### ○政務活動費手引きの見直し

インターネット回線利用料・コピー機リース代に  
按分率（50パーセント）を設定、上限額は設定しない。

### ○委員会におけるオンライン会議の導入

重大な感染症の蔓延等、万が一の事態に備えて、  
オンラインで開催できるよう準備を進めるべき。

## 本市議会議員の不祥事にあたり

この度、俵鋼太郎議員が公然わいせつ罪の疑いで逮捕されましたことは、大変遺憾であり、市民の皆様をはじめ、多くの方々にご心配とご迷惑をおかけしておりますことについて、深くお詫び申し上げます。

本市議会といたしましては、市民の皆様からの信用と信頼を失墜させた今回の事態を重く受け止めており、議会として取るべき対応を協議してまいります。

私どもといたしましては、市民の皆様からの負託に応えるべき市議会議員としての姿勢を正し、その職責と立場を再認識したうえで、職務に努めてまいりますので、皆様には、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

小田原市議会議長 大川 裕

編集：議会広報広聴常任委員会

委員長 池田 彩乃 副委員長 鈴木 敦子

委員 角田 真美 荒井 信一 宮原 元紀

井上 昌彦 小谷 英次郎 岩田 泰明

発行：小田原市議会 No.162 Tel:0465-33-1761

メール：shigikai@city.odawara.kanagawa.jp

☆次号の議会だより（令和4年11月1日発行予定）は、  
9月定例会の概要です。